



平成30年度 運営事業実績報告

平成30年度の児童家庭支援センターファミリーステーションいなみえんの運営事業実績報告をします。

1. 相談件数

平成30年度の新規受理人数（平成29年度以前からの継続の方も含めます）は合計127人となり、平成29年度よりも15人増えました。また、相談延件数は合計1396件となり平成29年度よりも94件増えました。相談延件数は、実際に支援を行った回数のことです。以下、相談延件数の内訳について説明します。

(1) 相談方法の月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	18	13	10	10	8	10	11	12	14	8	7	4	125
来所相談	39	39	63	63	47	39	3	48	51	48	52	51	543
訪問相談	47	66	49	34	23	36	56	56	50	26	23	23	489
心理療法	12	9	22	9	12	28	25	22	26	22	31	21	239
月別延件数	116	127	144	116	90	113	95	138	141	104	113	99	1396

相談方法に関して平成29年度と比べ、来所相談と心理療法等の件数が増えました。当センターでは心理的な助言や支援の依頼が多く、他機関からの紹介により当センターにつながり、定期的な通所によるプレイセラピーや心理面接が継続していく相談ケースもあるため心理療法の件数が増えたと考えられます。来所相談には関係機関の方々に来ていただいて相談ケースの情報共有や検討を行う支援も含まれています。関係機関の方々とは当センターにつながる前、加えてつながった後にも児童やご家族、家庭全体のことなど連携しながら見守っていくことを今後も大事にしていきたいと思っております。

(2) 相談内容の種別延件数

養護	虐待	保健	障害	非行	育成				その他	合計
					性格行動	不登校	適性	しつけ		
251	490	38	2	12	372	165	1	45	20	1396

相談内容に関して平成29年度と比べ、養護、保健、不登校相談が増えました。養護相談には、養育環境や保護者の養育に心配がある家庭や家庭環境の変化による子どもの精神面への不安などが挙げられます。保健相談の増加は、未満児の発達相談や精神疾患のある児童に関する相談によるものです。不登校相談は、近年当センターで増えています。通所を通して子どもが安心できる空間のなかで遊びや言葉を通じた自己表現や気持ちの交流の場となったり、保護者が一息ついたり、思いを整理する場となっています。障害相談は減りましたが、発達障害の診断は受けていないけれど、落ち着かなさや情緒の不安定さといった主訴の相談は、性格行動相談として集計しています。これらの性格行動相談は、こども園や学童保育など保育機関の先生方と最近気になる子どもの状況や経過を話し、検討および共有する時間も定期的にもつことで地域の子供達との理解や他機関への連携に役立っています。



2. 関係機関等との連携・連絡調整

事業名	実施回数	内容
要保護児童対策地域協議会	1回	加賀市要保護児童対策地域協議会代表者会
子ども支援連絡会	12回	要保護児童対策地域協議会実務者会議
山代地区子どもを育てる会	11回	個別ケースへの助言及びスーパービジョン
児童相談所との受理会議	11回	定例会議を通じてのケース報告及び検討会議
個別ケース会議	4回	児童相談所、要保護児童対策地域協議会、学校等が主催する個別ケース検討会議
山代出張相談	18回	地域子育て支援・出張出前相談
ケース依頼・他機関連携依頼	246回	他機関からのケース依頼または他機関へのケース依頼・連携依頼
	合計	303回

子どもや子育てに関する問題の早期発見・対応・きめ細やかな支援のため、さまざまな分野の機関と連携を図り、情報交換や連絡調整を行なうことで問題解決への効果的対応を目指しています。以下いくつか内容を紹介します。

- ・市町の依頼により要保護児童対策地域協議会へ毎月出席しています。ひとつのケースに複数の機関で連携して支援しているケースも多く、情報共有、支援方法の検討などを行っています。当センターからは心理士が出席しています。
- ・山代地区子どもを育てる会は昭和56年に発足し、毎月1回関係機関が集まり、地域全体で見守りを続けています。山代地区は温泉場であり特有の地域環境や家庭背景を抱えた家庭が多い地域です。不登校、ネグレクト、経済的困窮、虐待などの件数が多く、細やかな支援が必要とされています。
また、この地域で毎月第2、第4木曜日14時～16時に当センター職員が常駐し出張相談を行いました。「ちょっと話ししてみようかな？」と気軽に立ち寄っていただける場所になればと思っています。（今年度は毎月第2火曜日14～16時となりました。）
- ・児童相談所との受理会議を毎月1回行い、ケース管理とともに、当センターの専門性を高めるためのケースカンファレンス・スーパービジョンを通して、職員の相談援助技量の向上に努めています。

令和元年度も、関係機関との連携を大切に、地域でどのような支援が求められているのか、そのなかで児童家庭支援センターとしてどのような役割を必要とされているのかを常に熟慮しながら、支援を行なっていきたいと思います。

新入職員の紹介

相談員（臨床心理士/公認心理師） むらかみ ともス 村上 友恵

はじめまして。今年度より勤務させていただくことになりました村上友恵と申します。これまでは、病院で勤務した後、自治体の子育て支援とスクールカウンセラーの仕事をしていました。子育て支援では、個別相談のほか、健診後の遊びの教室やペアレントトレーニング、こども園等への訪問支援を行いながら、主に発達に心配のあるお子さんの支援に携わっていました。

これまでの支援の中で、私の場合、相談者の困っている課題や悩んでいることについて目が向きがちでした。しかし、それだけを知るのでは支援にはつながらず、お子さんやご家族お一人おひとりの感じ方や考え方、またその背景を理解して初めて支援に結びつくということ学びました。

子育て支援では、さまざまな分野の専門職が支援に携わりますが、ありのままの子ども自身の姿を知っているのは保護者であり、保護者は「その子の専門家」であると教えていただいたことがあります。実際に、保護者からお子さんの日常生活の様子や好きなことを伺う中で、課題や症状にとらわれない、その子本来の姿を知り、魅力や強みを見つけられた経験が何度もありました。

専門知識も大切ですが、目の前のお子さんやご家族の考え方や感じ方を理解しようと努め続ける中で、自分に果たせる役割を見つけていけたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

令和の始まり

所長 たなか たかし 田中 孝

4月中旬に中部地区児童家庭支援センター協議会総会が岐阜市で開かれ、心理士と一緒に出席してきました。中部地区では18センターに増えたこと、今年度の動向として、児童相談所の指導委託料が大幅アップすること、相談件数の中でも訪問相談のカウントが2倍になること等を聞いてきました。実績に応じて補助金が上がるという説明でした。2日目には自己研修として、長縄良樹先生にお願いして日本児童育成園を訪問し、児童養護施設と児童家庭支援センター“はこぶね”を見学させていただきました。木材を多く使った温かみを感じる素晴らしい建物でした。グループホームの配置がまるで“小さい街”のように建ち、とても羨ましく思いました。多忙なところ貴重な時間を割いていただき、ありがとうございました。



新しい時代の幕開けに当センターには新スタッフとして村上相談員をむかえ、スタートしました。皆様よろしくお祈りします。

【相談ダイヤル】

月曜日～土曜日
9:00～17:00
0761-75-8889

【山代出張相談】

<場所>山代よりみちハウス
<日時>毎月第2火曜日
14:00～16:00
連絡は当センターまで

相談担当

曜日	一般相談担当		心理担当(要予約)	
	上出	村上	浅田	森井
月	9:00-17:00	10:00-16:00		9:00-17:00
火	9:00-17:00	10:00-16:00		13:00-21:00
水	9:00-17:00			13:00-21:00
木	9:00-17:00			13:00-21:00
金	9:00-17:00	10:00-16:00		9:00-17:00
土	9:00-14:30		10:00-17:00	9:00-14:30
日				

今後の予定

- 6月18日(火) 子ども支援連絡会(月定例)
- 6月21日(金) 親の会(月定例)
- 6月24日(月) 山代地区子どもを育てる会(月定例)
- 7月 8日(月) 施設心理士会(定例)
- 7月 9日(火) 山代出張相談(第2火曜日)
- 7月10日(水) 全国児童家庭支援センター実務者研修会



子どもと家庭の悩み 話してみませんか?

児童家庭支援センター ファミリーステーションいなみえん

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉井6番地

TEL 0761-75-8889

FAX 0761-74-1461

E-mail center@inamien.jp

HP <http://www.inamien.jp>